

# 鹿児島県で栽培されるサツマイモ品種の基腐病に対する抵抗性評価

鹿児島県で栽培される品種のサツマイモ基腐病抵抗性を明確にしたことで、圃場の発生程度に応じた品種の選定が可能

## 背景・目的

- ・国内の主要品種に対するサツマイモ基腐病抵抗性の評価を農研機構が提示
- ・本県で栽培されている品種の一部は、抵抗性の評価が不明
- ・県内栽培品種の抵抗性評価が必要

## 成果の内容

・本県での栽培に基づいたサツマイモ基腐病の抵抗性評価は、以下のとおり

抵抗性判定	原料用	加工用	青果用
“強”	こないしん (奨励品種)	タマアカネ (カロテン系) タマユタカ	べにひなた 種子島ゴールド (アントシアン系)
“やや強”	みちしずく (奨励品種) ジョイホワイト (適品種、焼耐用)		べにまさり (適品種) ベニハヤト (カロテン系)
“中”	スズコガネ シロユタカ (奨励品種) サツママサリ		あまはづき
“やや弱”	こなみずき (低温糊化) コガネセンガン (奨励品種)	アヤムラサキ (適品種、アントシアン系) 高系14号 (奨励品種) あかねみのり (カロテン系)	ふくむらさき (アントシアン系) 種子島ろまん (アントシアン系) ベニサツマ (奨励品種) べにはるか (奨励品種)
“弱”	ダイチノユメ (奨励品種) コナホマレ		安納こがね 安納紅 パープルスイートロード (アントシアン系)



「種子島ゴールド」“強”



「シロユタカ」“中”



「安納紅」“弱”

## 期待される効果

○作付けほ場の発生程度を考慮した作付計画が可能

○品種の組み合わせによるリスク分散が可能



計画的な作付けによるサツマイモの生産安定

○普及対象・範囲  
サツマイモに関する生産者・関係技術員

注1) 農総センター大隅支場の令和3年～5年の結果から総合判定した  
2) 収穫時の地際の茎に黒変症状が認められた株で評価した  
3) 発病程度は年次により変動があり、既知の判定と異なる場合がある

鹿児島県農業開発総合センター  
大隅支場園芸作物研究室